



コンパクト SUV のスポーツモデル

Press Information

2023年12月21日

新型「メルセデス AMG GLA 35 4MATIC」および 「メルセデス AMG GLB 35 4MATIC」を発売

- ・ 48V電気システムとBSGを搭載
- ・ エクステリアデザインを刷新
- ・ 安全性や快適性を高めるMBUX ARナビゲーションなどを標準装備

メルセデス・ベンツ日本株式会社(社長:上野金太郎、本社:東京都品川区)は、「GLA」および「GLB」にスポーツモデル「メルセデス AMG GLA 35 4MATIC」(以下、GLA 35)と「メルセデス AMG GLB 35 4MATIC」(以下、GLB 35)を追加し、本日より全国のメルセデス・ベンツ正規販売店ネットワークを通じて発売します。

GLAは、2014年に発表となり、世界でも日本でも成功を収めた初代から、コンパクトなボディにメルセデス・ベンツのSUV技術を凝縮させつつも、都市での日常生活にも適したスタイリッシュでオールラウンドなコンパクトSUVとして人気のモデルです。

GLBは、世界で持続的な成長を遂げるSUV市場において、すでに多くのラインアップを持つメルセデス・ベンツが、さらに多様なお客様のニーズに応えるべく投入した、全く新しいモデルです。究極のオフローダーであるGクラスからインスピレーションを受けた、スクエアなエクステリアデザインと高い悪路走破性を持つ本格的なSUVでありながら、広い室内空間に7人乗車を標準とし、かつ日本の都市部でも取り回しのよいボディサイズを実現した「全てを備えた本格SUV」です。

新型「GLA 35」および「GLB 35」は、エクステリアデザインを刷新するとともに、ナビゲーションシステムをSクラス等に採用している最新世代にアップデートし、MBUX ARナビゲーション、アドバンスドサウンドシステム等を標準装備、また、Burmester®サラウンドサウンドシステムをオプション設定しました。さらに、48V電気システムとBSG(ベルトドリブン・スタータージェネレーター)を搭載することにより、高い効率性と快適性、および高性能化を同時に実現しています。

パワートレイン

GLA 35 および GLB 35 には、最高出力 306PS(225kW)、最大トルク 400N・m を発生する、2.0 リッター直列 4 気筒ターボエンジン「M260」が搭載されます。低回転域での力強く、自然なレスポンスと、中高回転域での伸びやかな加速感を両立させるため、ツインスクロールターボチャージャーや可変バルブリフトシステム「CAMTRONIC」を採用しています。今回の改良にあたり、ベルトを介してクランクシャフトと接続される、

スターターとジェネレーターを兼ねるモーター「BSG」と「48V 電気システム」を採用しました。回生ブレーキ等により発電した電気を約 1kWh のリチウムイオン電池に蓄電し、振動の少ないエンジン始動、滑らかで力強い加速、素早いギアシフトなどの必要に応じて、最大トルク 160N・m^{*1} の動力補助を行い、燃費低減効果だけでなく、パワートレインの総合性能を引き上げます。また、ウォーターポンプが電動化され、冷却能力を必要に応じて最適に調整することが可能となったため、さらに効率化されています。

*1: モーター単体ではなく、クランクシャフトに作用するトルクです。

GLA 35およびGLB 35に組み合わせられるAMG スピードシフト DCT 8速デュアルクラッチトランスミッションは、全速度域でのきわめて自然な加速性能に加え、素早いシフトとシフトアップ時の最適なギアのつながりが得られるようにセッティングされ、俊敏、かつダイナミックで気持ちの良い加減速を実現しています。エグゾーストシステムには自動制御のフラップを装備しており、選択したドライブモードに応じて、バランスの取れた音色から、ドライバーの感性を刺激するモータースポーツ譲りのエグゾーストサウンドまで切り替えを行うことができます。

スポーティに刷新されたエクステリアデザイン

- ・ 新デザインのボンネットエンブレムを採用
- ・ ホイールアーチをブラックからボディ同色に変更^{*2}

*2: GLA 35のみ

- ・ ホイールデザインを刷新



新型GLA 35 4MATIC



新型GLB 35 4MATIC

外装色に新色「スペクトラルブルー」「ローズゴールド」を追加しました。

より直感的な操作が可能なステアリングホイールを採用したインテリア

インテリアには、新世代のステアリングホイールを採用し、3本のツインスポークにより近未来的なスポーティさを演出しています。ナビゲーションやインストルメントクラスター内の各種設定や安全運転支援システムの設定を手元で完結できる機能性も有しています。従来はタッチコントロールボタンへの接触やステアリングホイールにかかるトルクで判定していた、ディスタンスアシスト・ディストロニック使用時のハンズオフ検知機能のために、新たにリムに静電容量式センサーを備えたパッドを採用しました。これにより、ステアリングホイールにかかるトルクがなくとも、ドライバーがステアリングホイールを握っていることが認識され、ディスタンスアシスト・ディストロニックの使い勝手を向上しています。また、センターコンソールに設置していたタッチパッドを廃止し、すっきりとしたインテリアデザインになりました。さらに、オプションのアドバンスドパッケージを選択すると、シックで高級感のあるインテリアを演出する本革仕様のブラックまたは同じく本革仕様でスポーティなレッドペッパーとブラックの組み合わせをお選び頂くことが可能となりました。

新たに Burmester®サラウンドサウンドシステムをオプション設定し、心地よいサウンドをお楽しみ頂くことが可能となります。

最新世代のMBUX(メルセデス・ベンツ ユーザーエクスペリエンス)を標準装備

「GLA 35」および「GLB 35」に最新世代の対話型インフォテインメントシステム「MBUX」を採用しました。ボイスコントロールは「Hi, Mercedes」をキーワードとして起動します。音声認識機能は多くのインフォテインメント機能(目的地入力、電話通話、音楽選択、気象情報)に加え、クライメートコントロール、各種ヒーター、照明など多様な機能にも対応しています。また、音声認識だけではなく、タッチスクリーン、ステアリングホイールにあるタッチコントロールボタンでも様々な操作をすることができ、ドライバーの好みや運転状況に応じて使い分けることが可能です。また、メルセデス・ベンツの最新世代のナビゲーションシステムと、MBUX AR (Augmented Reality = 拡張現実) ナビゲーションを採用しました。従来、目的地を設定して行先案内をする場合、地図上に進むべき道路がハイライトされますが、新型では、それに加えて、車両の前面に広がる現実の景色がナビゲーション画面の一部に映し出され、その進むべき道路に矢印が表示されます。

リサイクルから得られた原料を使用したシートを採用

メルセデス・ベンツの「アンビション 2039」は、2039年より新車の乗用車について、バリューチェーンとライフサイクルの全体でカーボンニュートラルな商品を投入する目標を設定しています。まずは、2020年代末までに、新車における乗用車1台当たりの全ライフサイクルにわたるCO₂排出量を2020年比で少なくとも半減させることを実現すべく、そのための対策の1つが、リサイクルから得られる原材料を採用しています。レザーARTICO/MICROCUTのシート中央部には、シート表面の65%、内部材料の85%がリサイクルから得られた原料を使用したファブリックを採用しています。

メーカー希望小売価格(消費税込み)は以下の通りです。

GLA

モデル	ステアリング	エンジン	メーカー希望小売価格 ^{*3} ()内は消費税抜き車両本体価格
GLA 180	右	1.4L、直列4気筒 直噴ターボ	¥5,990,000 (¥5,445,455)
GLA 200 d 4MATIC	右	2.0L、直列4気筒 直噴ディーゼルトーボ	¥6,550,000 (¥5,954,545)
メルセデス AMG GLA 35 4MATIC (BSG搭載モデル)	右	2.0L、直列4気筒 直噴ターボ	¥8,810,000 (¥8,009,091)

GLB

モデル	ステアリング	エンジン	メーカー希望小売価格 ^{*3} ()内は消費税抜き車両本体価格
GLB 180	右	1.4L、直列4気筒 直噴ターボ	¥6,380,000 (¥5,800,000)
GLB 200 d 4MATIC	右	2.0L、直列4気筒 直噴ディーゼルトーボ	¥6,940,000 (¥6,309,091)
メルセデス AMG GLB 35 4MATIC (BSG搭載モデル)	右	2.0L、直列4気筒 直噴ターボ	¥9,160,000 (¥8,327,273)

*3: 上記のメーカー希望小売価格は、付属品価格、税金(消費税を除く)、保険料、登録に伴う諸費用を含まない車両本体価格です。また、「自動車リサイクル法」に基づく、リサイクル料金が別途必要となります。メーカー希望小売価格は参考価格です。価格は販売店が独自に定めておりますので、詳しくは各販売店にお問い合わせ下さい。

なお、新型「GLA 35」および「GLB 35」には、新車購入から3年間、一般保証修理/定期メンテナンス(点検整備の作業工賃・交換部品)/24時間ツーリングサポート/地図データ更新が無償で提供される走行距離無制限の保証プログラム「メルセデス・ケア」が適用されます。

さらに、メルセデス・ケア終了後、有償の保証延長プログラムとして、一般保証および24時間ツーリングサポートを2年間延長する「保証プラス」と、4、5年目のメンテナンスサービスにおいて、初回車検時および4年目の点検や定期交換部品、消耗品の交換をパッケージでご提供する「メンテナンス プラス^{*4}」をご用意しています。

^{*4} 新車登録日から59ヶ月後の応当日の前日、または総走行距離75,000km到達時のいずれか早い時点で終了となります。



メルセデスAMG GLA 35 4MATIC (BSG搭載モデル)



メルセデスAMG GLB 35 4MATIC (BSG搭載モデル)

新型GLA 35およびGLB 35に搭載される安全運転支援システムの詳細説明

「インテリジェントドライブ」

マルチパーパスカメラとレーダーセンサーの働きにより周囲の交通状況を的確に把握します。

・アクティブディスタンスアシスト・ディストロニック

「アクティブディスタンスアシスト・ディストロニック」は、マルチパーパスカメラとレーダーセンサーにより、高速道路などの走行時に先行車を認識して、速度に応じて車間距離を調節します。減速が必要な場合、アクセルおよびブレーキを調整してスムーズに減速し、先行車が停止した場合は自車も停止します。

・アクティブブレーキアシスト

先行車や路上の物体などとの衝突の危険性を感知すると、ディスプレイ表示や音でドライバーに警告します。必要な場合はシステムが衝突を回避するために強力な制動力を発揮できるようにブレーキ圧を高めめます。

・トラフィックサインアシスト

一般道や高速道路を走行中、カメラが制限速度などの標識を読み取り、ディスプレイに表示し、制限速度を超えた際には警告音を出してドライバーに注意を促す機能も搭載します。

・アクティブレーンキーピングアシスト

フロントウインドウのマルチパーパスカメラが車線を検出し、フロントホイールが走行車線を越えたと判断するとステアリングを断続的に微振動させてドライバーに警告します。ドライバーが反応しない場合はステアリング補正によって車両を車線内に戻そうとします。なお、破線の車線走行時には隣車線の車両もしくは対向車と衝突の危険がある場合にのみ作動します。

・ブラインド・スポットアシスト(降車時警告機能付)

リアバンパーのレーダーセンサーにより、車両の斜め後ろのミラーで見えない死角エリアに車両や自転車がいることを警告します。また、エンジン停止から一定時間、障害物が後方から近づくと、サイドミラー外側の警告灯が点灯し、さらにドアを開けようとする、警告音を発することで、死角から近づく障害物と、開けたドアが接触することを防止する「降車時警告機能」も付いています。

ドライバーを支援するその他のシステム

・ドライブアウェイアシスト

車両前方もしくは後方に障害物があり、その方向に進むギアを選択した場合、アクセルを強く踏んでも一定以上の速度が出ず、警告音によりドライバーに誤操作の可能性があることを警告します

*5: 停止した際に、一旦 P にシフトした後、D か R に入れる必要があります。通常走行中に停止し、P にシフトせずに再発進をする場合は、本機能は作動しません。

*6: 時速 2km/h で走行し、警告にも関わらずドライバーがブレーキを踏まない場合は障害物に衝突します。

*7: 停止した際に障害物から 1m 以上離れている場合、本機能は作動しません。

・アクティブパーキングアシスト

一定速度以下で走行中、超音波センサーが左右の最適な駐車スペースを検出し、駐車スペースへの出入りの際にドライバーをサポートします。駐車スペースからバックで出る際に、後ろを横切るクルマを検知してドライバーに注意を促すとともに、必要に応じてブレーキを作動させる「リアクロストラフィックアラート」も装備しています。並列駐車および縦列駐車に対応します。